

給食だより

令和6年 10月号
春日部市立 豊野小学校

夏の暑さが落ち着き、過ごしやすい季節となりました。学問、スポーツ、芸術、読書など秋はさまざまな活動に打ち込み、才能を伸ばすのにピッタリな季節です。また、さば、さつまいも、くり、ぶどう、かき、きのこ類などおいしい食べ物がたくさん出回ります。秋を感じる食べ物をたくさん見つけ、よく味わいながら食べて冬に備え、丈夫な体をつくりましょう。

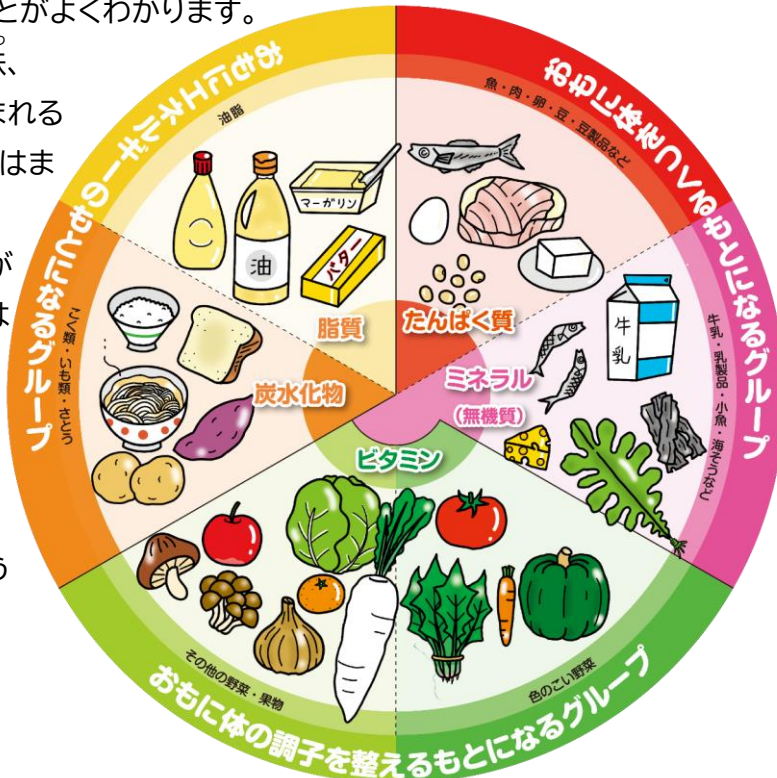
～食品と栄養素のはたらき～

私たちは食べ物を食べ、生きていくために必要な成分を体の中に取り入れて、エネルギーに変えたり、体をつくったり、体の調子を整えたりするために利用しています。このような営みを「栄養」といい、その栄養として食物から取り入れられる成分を「栄養素」といいます。

栄養素については、中学校まではそのはたらきや性質から「炭水化物」「脂質」「たんぱく質」「無機質（ミネラル、とくにカルシウム）」「ビタミン」の5つについて学びます。給食の献立表などで使われている黄・赤・緑の3つの食品グループや、中学校で学ぶ6つの基礎食品群は、この「五大栄養素」にそって、それぞれの食品に多く含まれ、おもにはたらきや性質でグループ分けをしたものです。米や麦などの穀物やその加工品に多い「炭水化物」、肉・魚・卵など動物由来の食べ物に多い「たんぱく質」、野菜・果物に多い「ビタミン」といった特徴があることがよくわかります。

一方、同じ無機質でも食塩（ナトリウム）や鉄、またビタミンですが、動物性食品にも多く含まれるビタミンB群など、この分け方ではうまく当てはまらない場合もあります。

1つの食品には、さまざまな種類の栄養素が複数含まれています。こうした食品グループはあくまでも食品を選んだり、食事を作ったりするときの大きな目安になるものです。実際に食事をする場面では、いろいろな食品を、食べる量や時間、そして味や彩り、調理法の組み合わせも考えながらまんべんなくとるよう心がけましょう。



～生活習慣病を防ごう！～

がんや心臓病、脳卒中といった病気は現在の日本人の死亡原因のトップ3ですが、その発症、進行には日頃の生活習慣が大きく関わっており、こうした病気をまとめて「生活習慣病」とよびます。生活習慣病の進行は若いころからすでに始まっているとされています。子どもの頃に一度身につけてしまった、健康にとってあまり好ましくない食生活の習慣を、大人になってから直したり、改善したりするのはなかなか難しいといわれています。

食生活を見直し、生活習慣病を予防しよう！

さとう、塩、あぶらのとりすぎに注意！
食べられるものの幅を広げておこう！
朝食抜きや夜食など 早食いせず、悪い習慣はやめよう！ よくかんで食べよう！



1日3食を規則正しくバランスよくとろう！

お知らせ

- 10月22日(火)は、就学時健康診断のため、3時間授業後下校になります。お家で昼食の準備をお願いいたします。
- 10月24日(木)は、全校お弁当の日です。給食はありませんので、お家からお弁当を持ってきていただくようお願いいたします。親子で一緒にお弁当を作ったり、高学年のみなさんは自分でお弁当作りにチャレンジしてみたり、ご家庭でも食について考える機会にさせていただけますと幸いです。